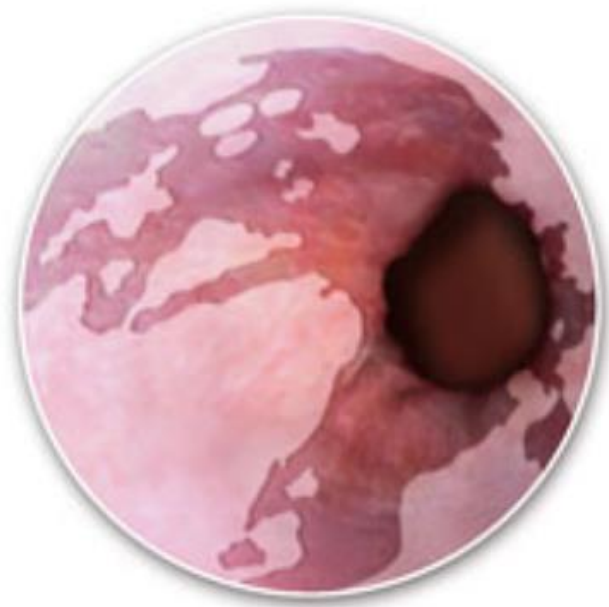


バレット食道に対するプロトンポンプ阻害薬＋アスピリン

バレット食道患者に対するプロトンポンプ阻害薬（PPI）エソメプラゾールとアスピリンの効果を検討した AspECT 試験の結果が Lancet 誌に掲載されました。



全死亡、食道腺癌または高度異形成の発生までの時間を主要評価項目とした場合、低用量 PPI 投与群（20mg/日）よりも高用量 PPI 投与群（80mg/日）で、主要評価項目の発生までの時間が長くなりました（時間比 1.27）。



高用量 PPI+アスピリン併用群は低用量 PPI 単独群に比べて最も強い作用を示しました（時間比 1.59）。